

平成29年度

台東区民の意識調査

概要版

調査の概要

- ・調査対象 台東区在住の満20歳以上の男女個人
- ・標本数 1,500人
- ・抽出方法 無作為抽出法
- ・調査方法 郵送配布－訪問回収法
(訪問回収にあたっては、区職員が150件の回収を担当)
- ・有効回収標本数(率) 1,060標本(70.7%)
- ・調査期間 平成29年7月10日(月)～7月31日(月)

調査の内容

1. 定住性……………P 5	10. 福祉のまちづくり……………P 13
2. 観光振興……………P 7	11. スポーツ活動……………P 14
3. 東京2020オリンピック ・パラリンピック競技大会……………P 8	12. かかりつけ医・歯科医・薬剤師(薬局) ……P 16
4. 花の心プロジェクト……………P 9	13. 食品ロスの削減……………P 16
5. 東京初の世界文化遺産 国立西洋美術館……………P 9	14. 人権・男女共同参画社会……………P 18
6. 災害対策……………P 10	15. 広報……………P 19
7. 生活安全……………P 11	16. 区議会……………P 20
8. まちづくり……………P 12	17. ケーブルテレビ……………P 21
9. 協働による地域力の向上……………P 12	18. 区政への関心と要望……………P 22

はじめに

台東区では、常に区民のニーズに即した施策を展開し、暮らしやすいまちを区民とともにつくり上げるため、区民の皆様のご意見をお聴きする「区長への手紙」や「区政サポーター」など、様々な広聴事業を行っています。

「台東区民の意識調査」は、昭和45年から広聴事業の一環として実施しており、今回で36回目となります。

今年度は、継続調査の「定住性」「施策への要望」の他に、「観光振興」や「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」「花の心プロジェクト」など、18のテーマについて伺いました。

調査結果の取りまとめをいたしましたので、ご報告いたします。

調査結果は、「区民の声」として今後の区政運営の貴重な資料として活用させていただきます。

今回の「台東区民の意識調査」の実施にあたり、ご協力いただきました区民の皆様に、心からお礼を申し上げます。

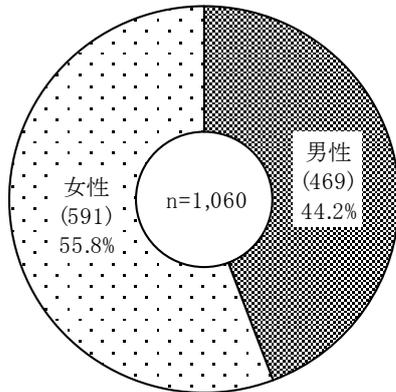
平成29年12月

台東区総務部 広報課

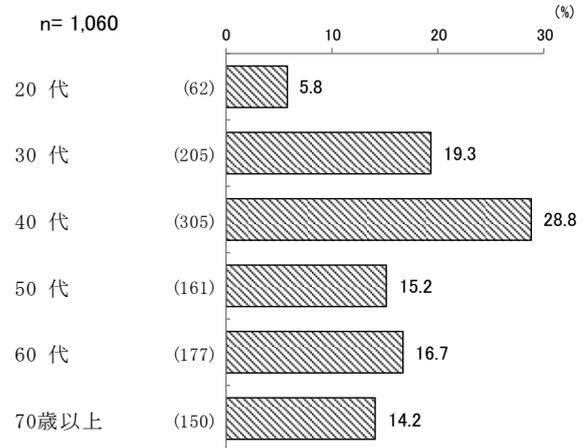
※この報告書は、台東区のホームページ <http://www.city.taito.lg.jp/> に掲載しています。

標本構成

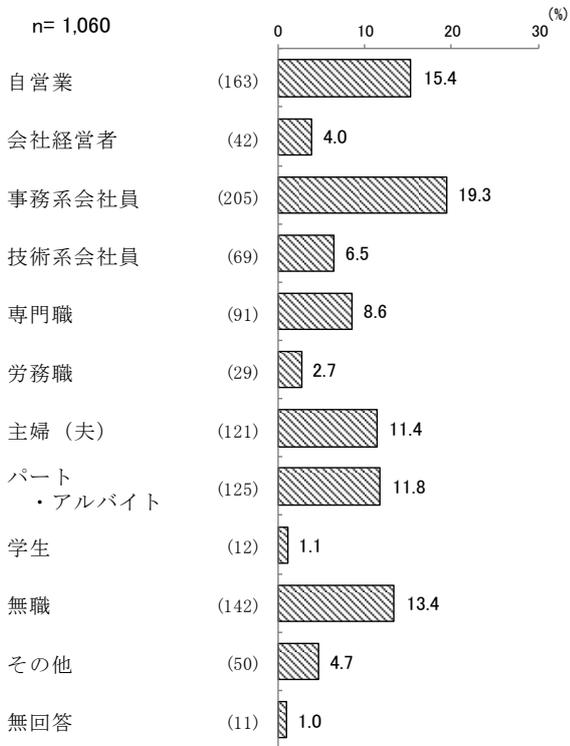
性別



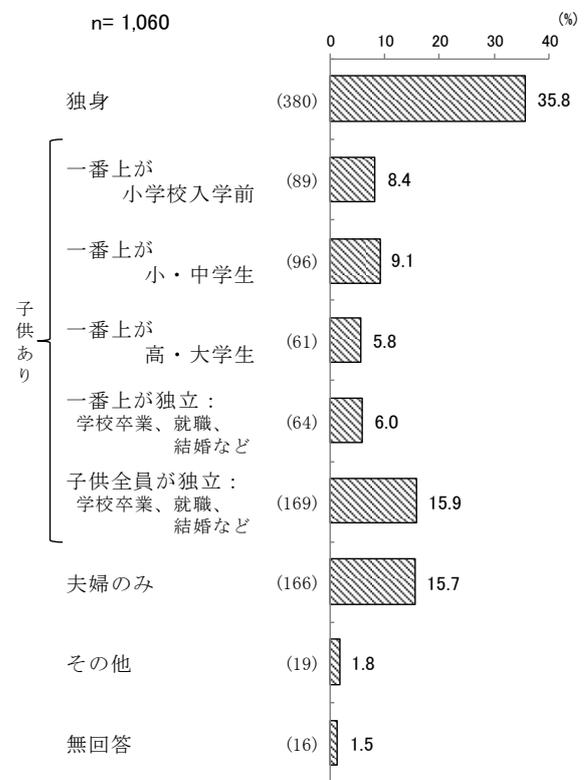
年代



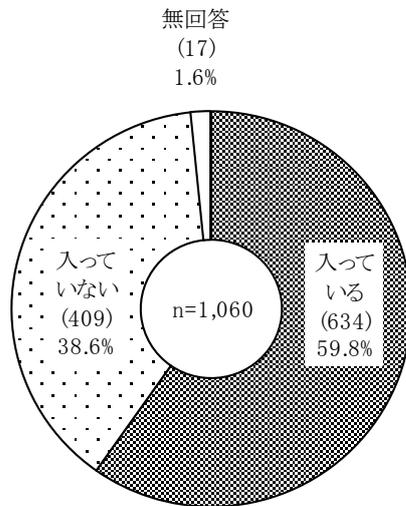
職業



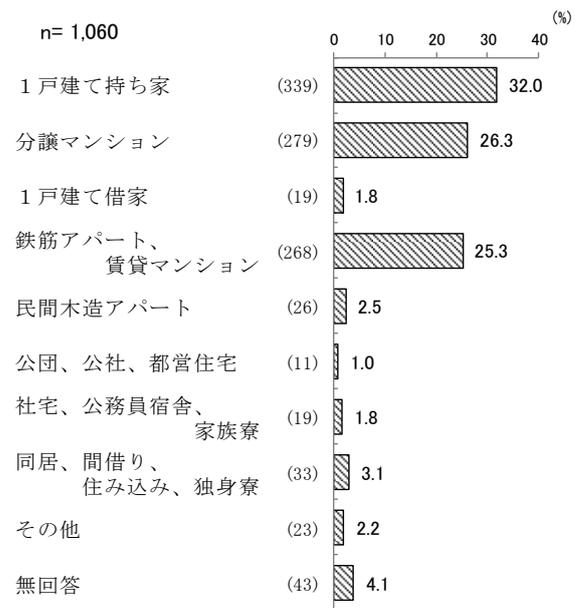
家族構成



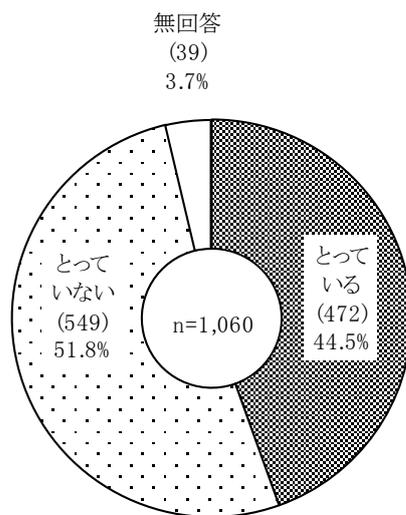
町会への加入状況



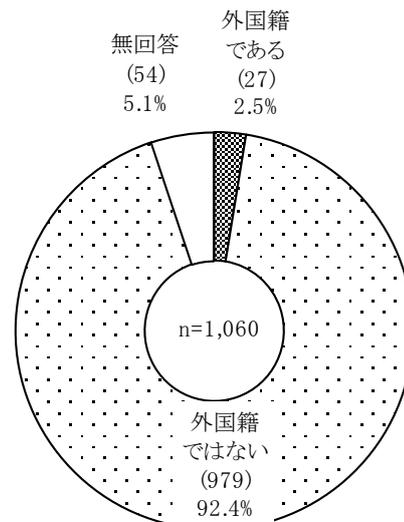
住居形態



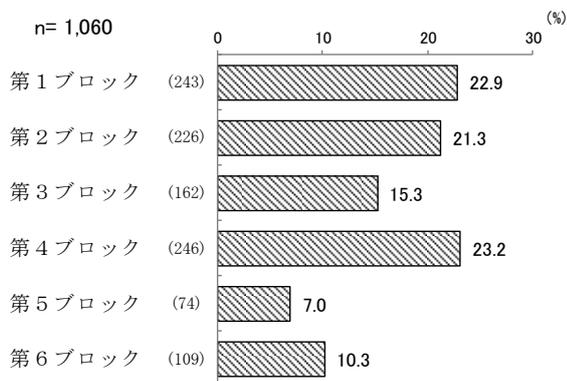
新聞の購読状況



国籍



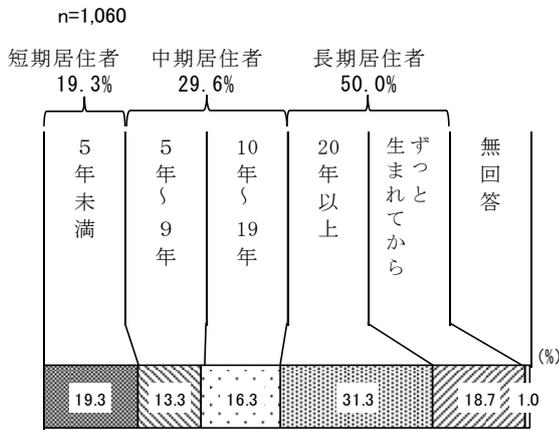
居住地区



1. 定住性

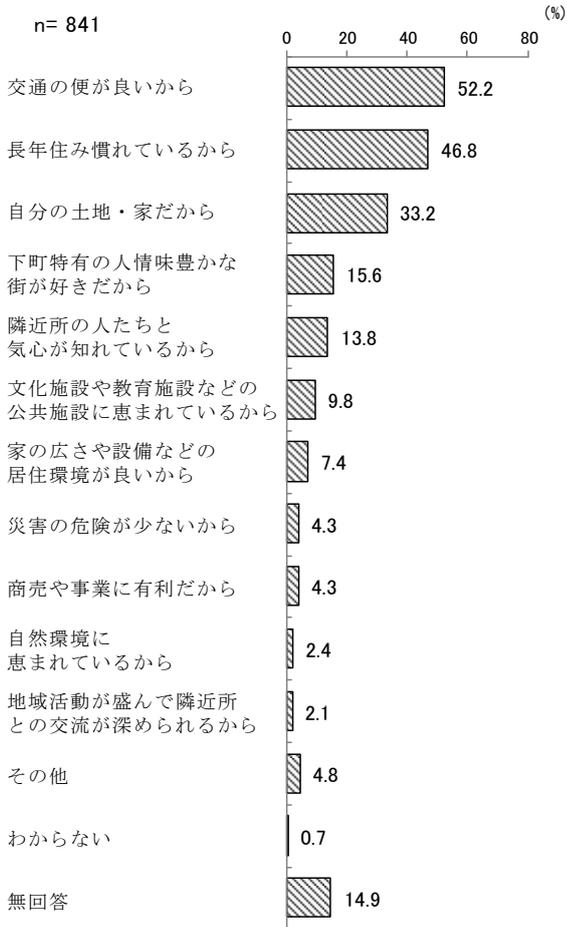
居住年数

『長期居住者』が5割



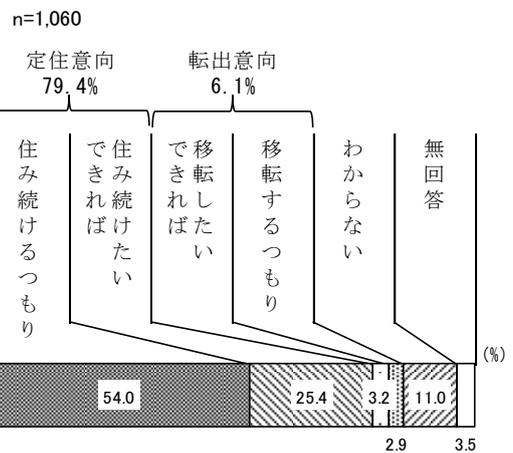
定住意向理由

『交通の便がよいから』が5割を超える



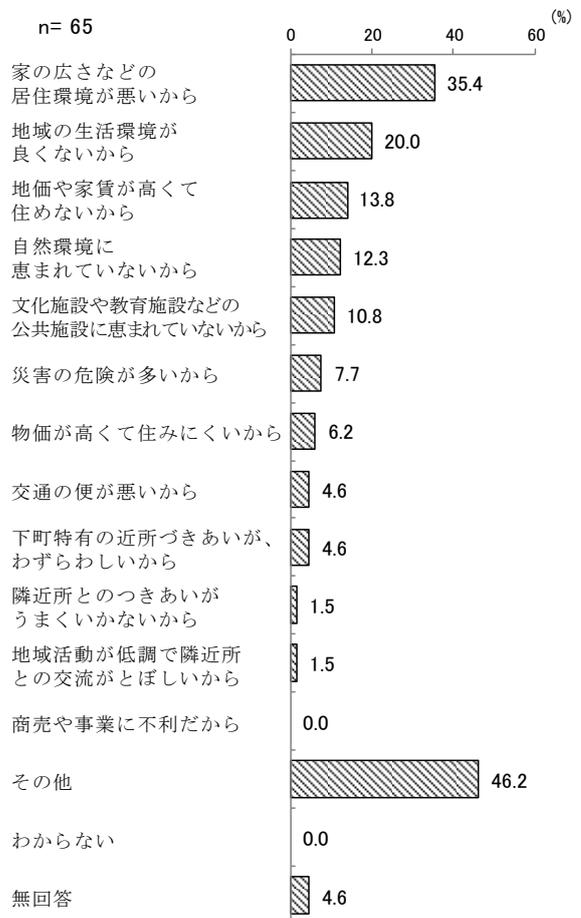
定住・転出意向

『定住意向』がほぼ8割



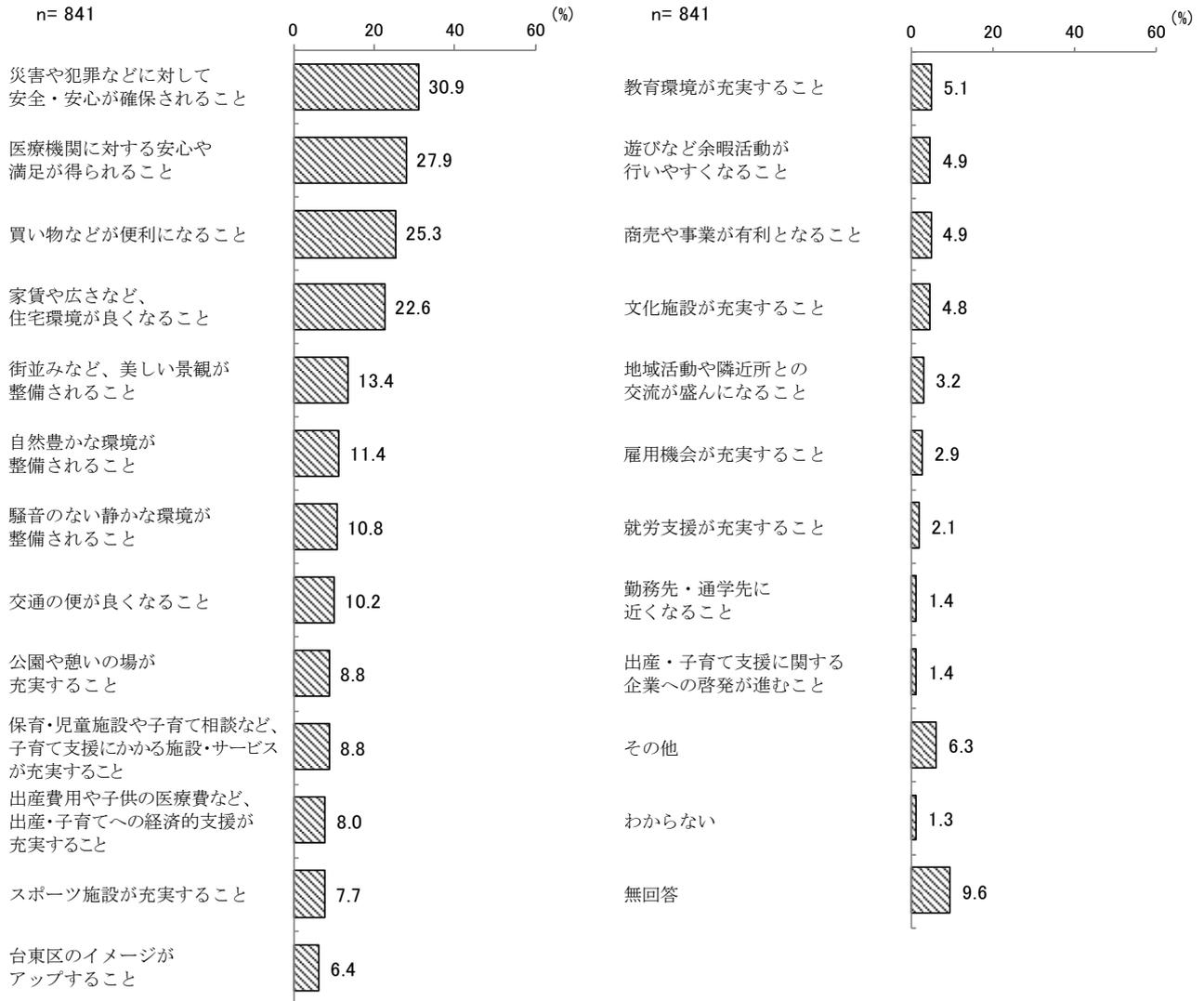
転出意向理由

『家の広さなどの居住環境が悪いから』が3割半ば



住み続ける上での改善点

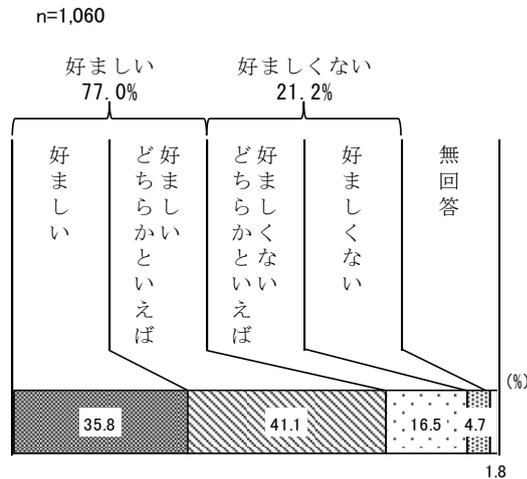
「災害や犯罪などに対して安全・安心が確保されること」がほぼ3割



2. 観光振興

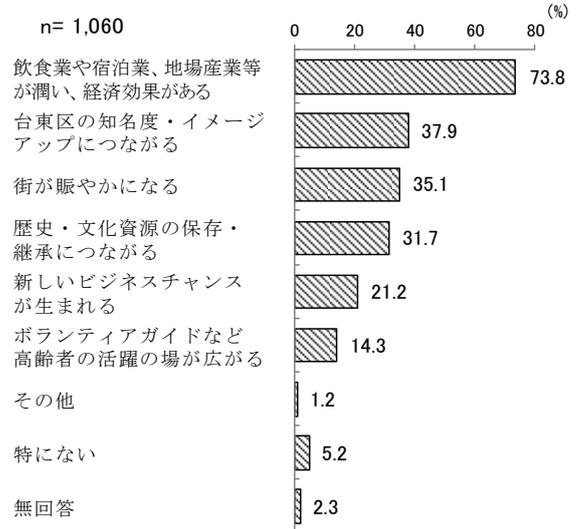
観光客の増加についての考え

『好ましい』が8割近く



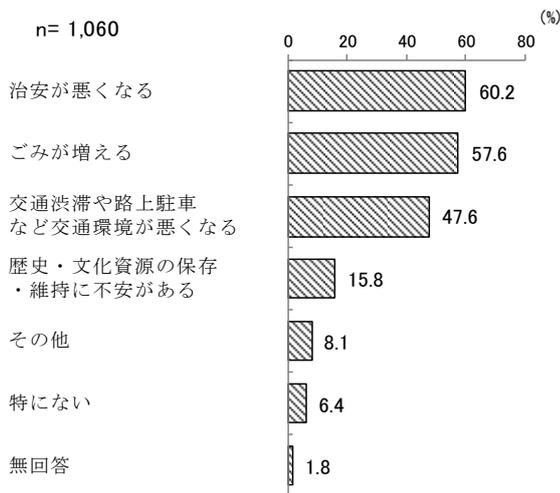
観光客が訪れることで期待するプラスの要因

「飲食業や宿泊業、地場産業等が潤い、経済効果がある」が7割を超える



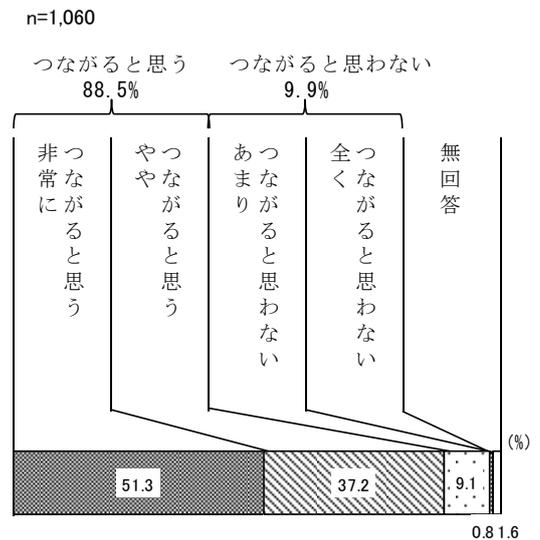
観光客が訪れることで心配するマイナスの要因

「治安が悪くなる」が6割



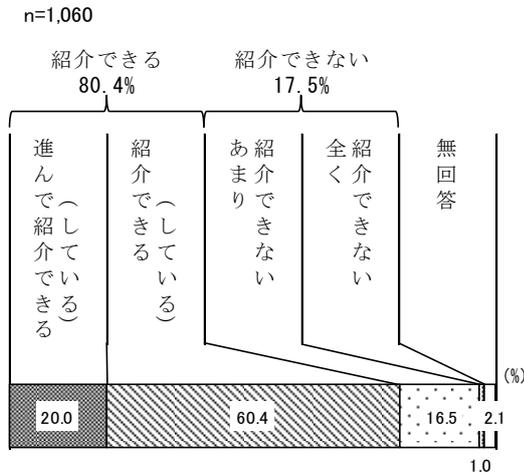
観光基盤の整備と区民生活のつながり

『つながると思う』が9割近く



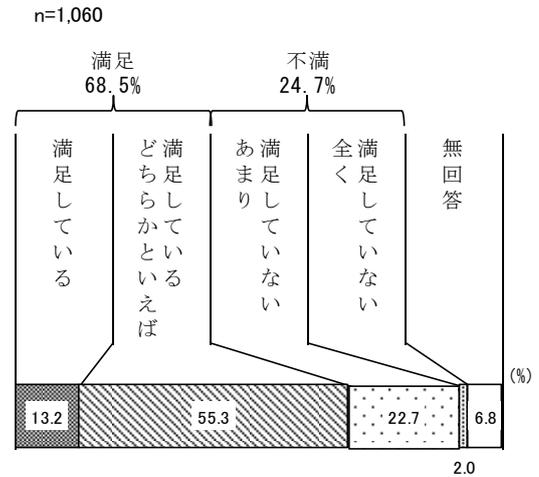
台東区を魅力ある観光地として紹介できるか

『紹介できる』が8割



区の観光振興への取り組みの満足度

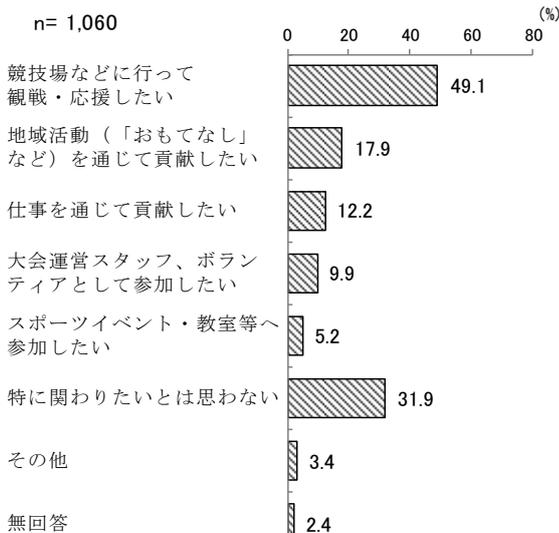
『満足』が7割近く



3. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

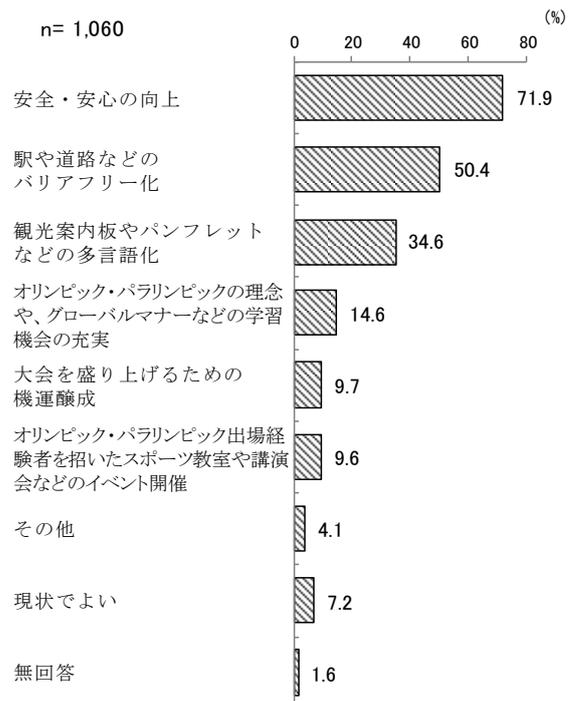
東京2020大会への参加形態

「競技場などに行って観戦・応援したい」がほぼ5割



東京2020大会に向けて力をいれていく分野

「安全・安心の向上」が7割を超える

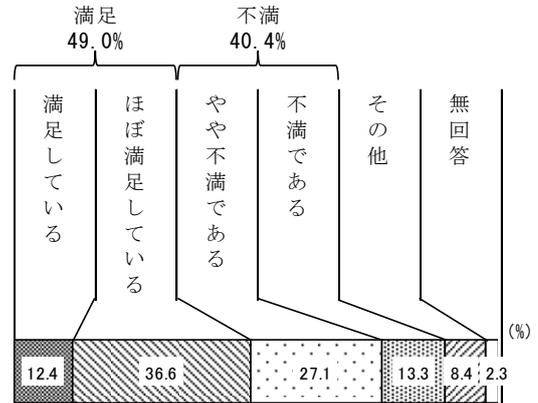


4. 花の心プロジェクト

花壇やプランターの満足度

『満足』がほぼ5割

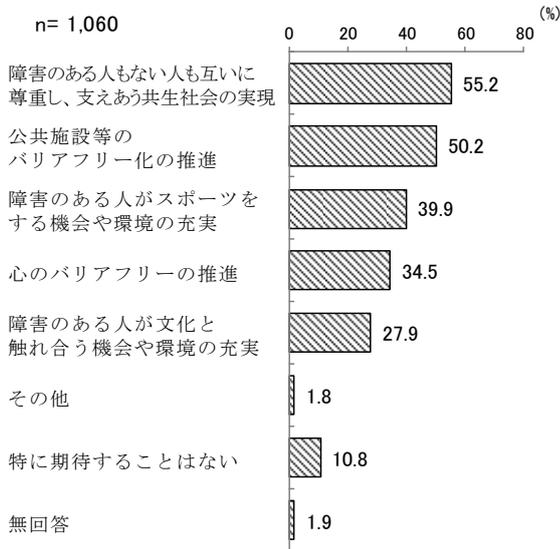
n=1,060



東京 2020 パラリンピック競技大会への期待

「障害のある人もない人も互いに尊重し、
支えあう共生社会の実現」が5割半ば

n= 1,060

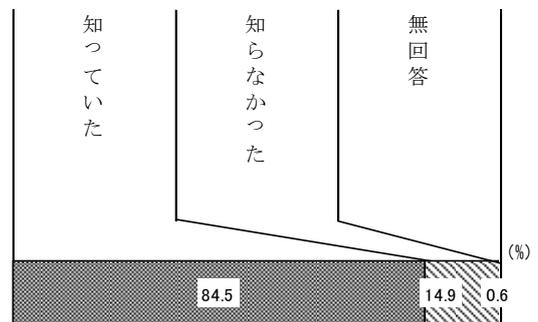


5. 東京初の世界文化遺産 国立西洋美術館

台東区内の世界遺産（世界文化遺産）の認知度

「知っていた」が8割半ば

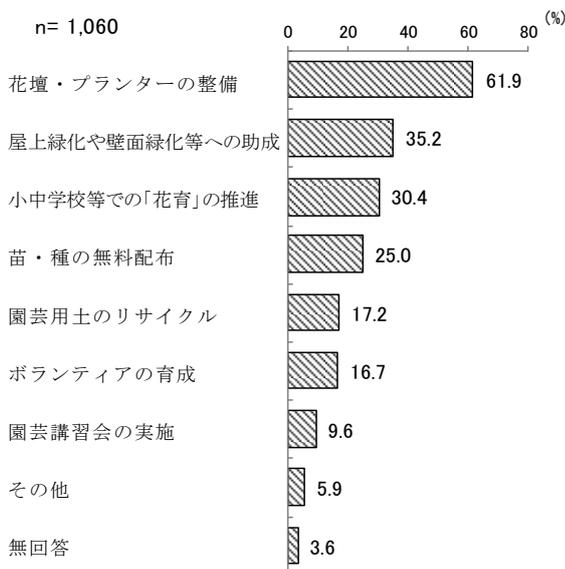
n=1,060



花の心プロジェクト推進のために 力を入れる事業

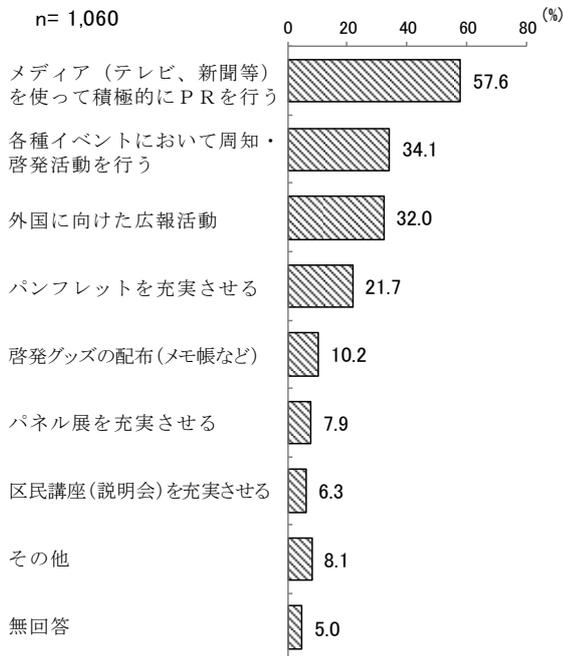
「花壇・プランターの整備」が6割を超える

n= 1,060



「世界遺産のあるまち 台東区」 として必要な取り組み

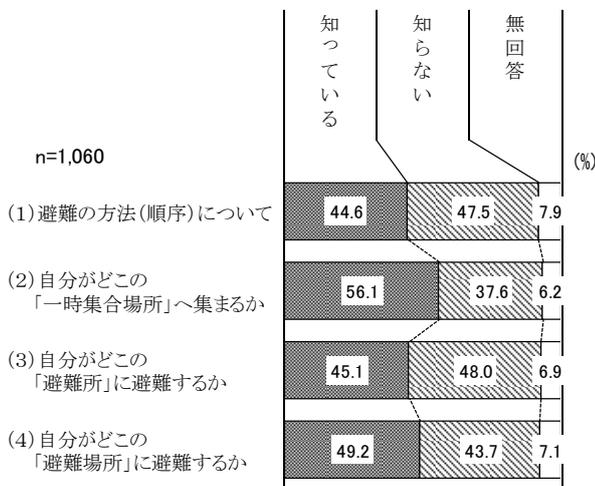
「メディア（テレビ、新聞等）を使って積極的にPRを行う」が6割近く



6. 災害対策

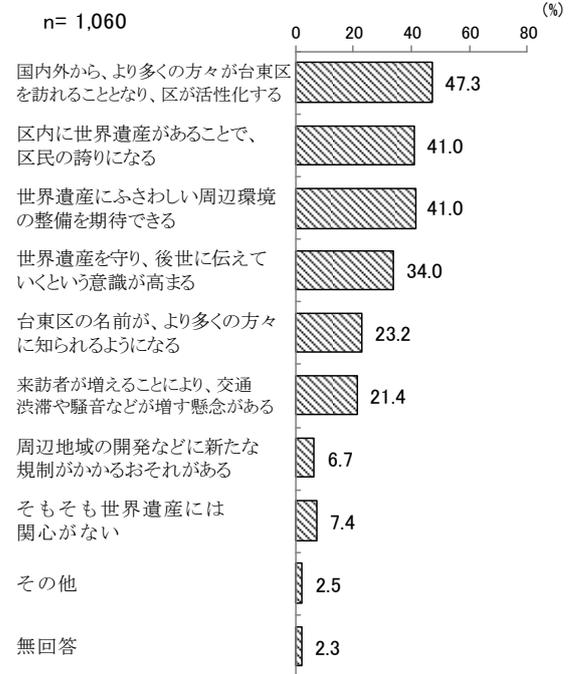
避難の方法の認知度

【避難の方法（順序）の認知度】は4割半ば、
【一時集合場所の認知度】は5割半ば、【避難場所の認知度】は4割半ば、【避難場所の認知度】はほぼ5割



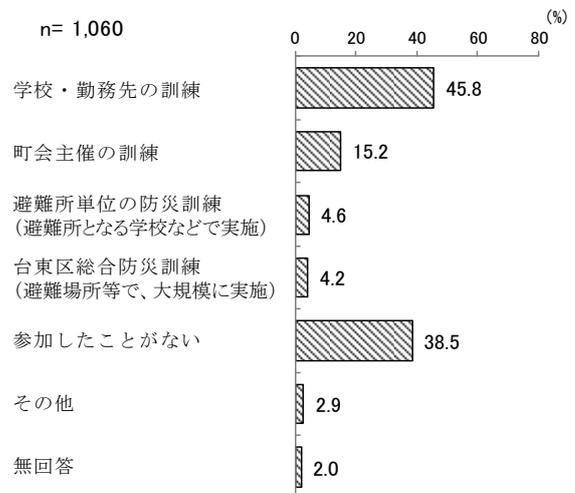
世界遺産（世界文化遺産）誕生による影響

「国内外から、より多くの方々が台東区を訪れることとなり、区が活性化する」が5割近く



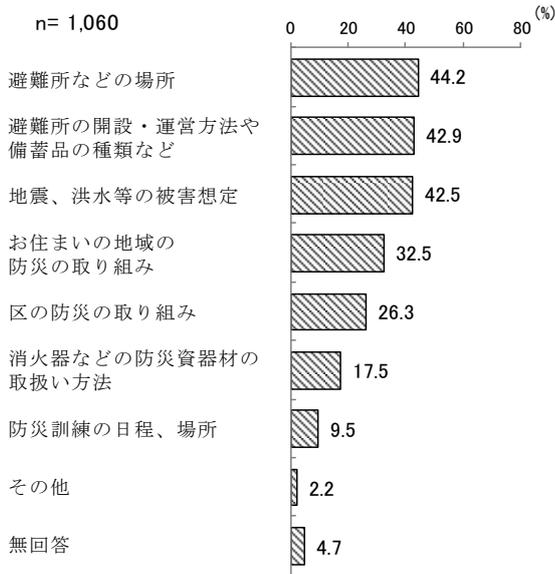
参加したことがある防災訓練

「学校・勤務先の訓練」が4割半ば、一方「参加したことがない」が4割近く



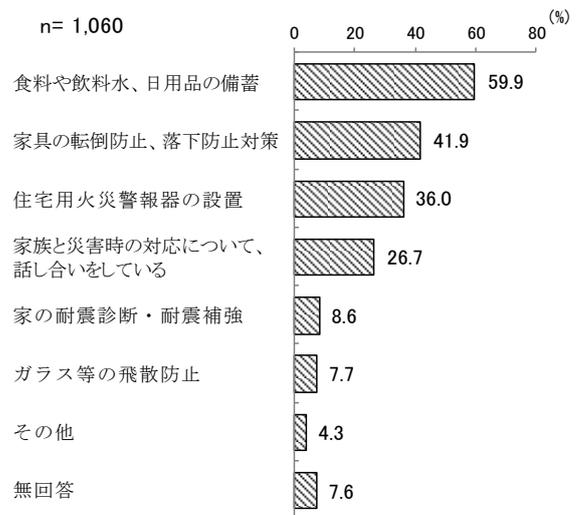
防災に対して知りたい情報

「避難所などの場所」が4割半ば



災害等に対する備え

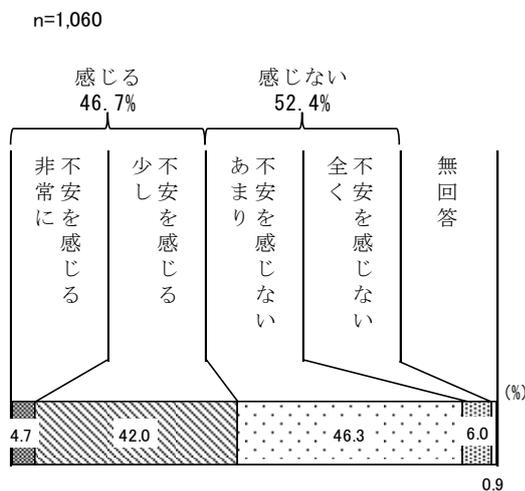
「食料や飲料水、日用品の備蓄」が6割



7. 生活安全

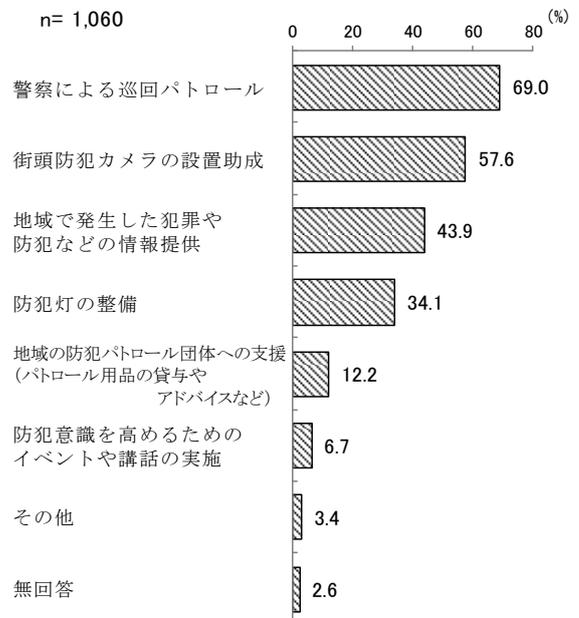
日常生活での治安の状況

不安を『感じない』が5割を超える



地域の防犯活動に対する取り組み強化の要望

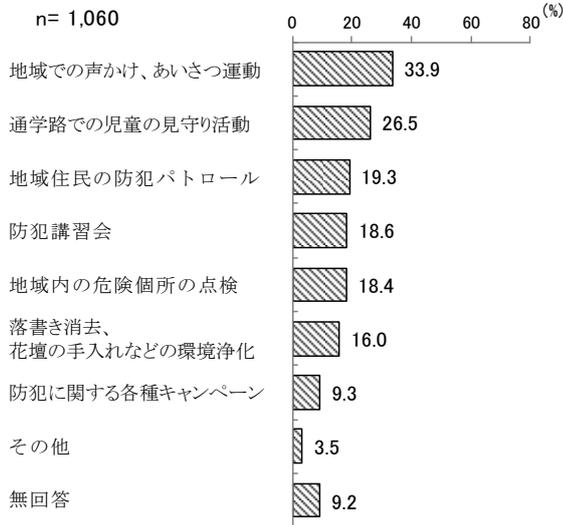
「警察による巡回パトロール」がほぼ7割



8. まちづくり

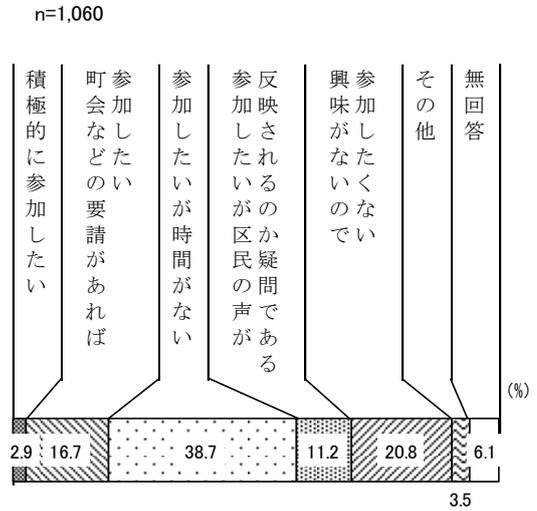
参加したい防犯活動

「地域での声かけ、あいさつ運動」が3割を超える



「まちづくり協議会」への参加の考え

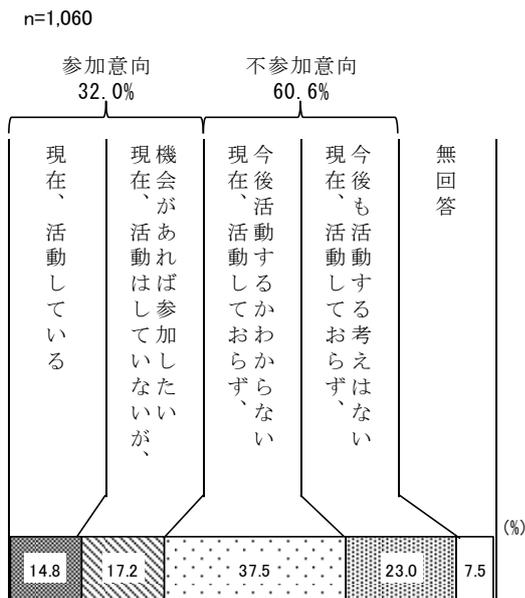
「参加したいが時間がない」が4割近く



9. 協働による地域力の向上

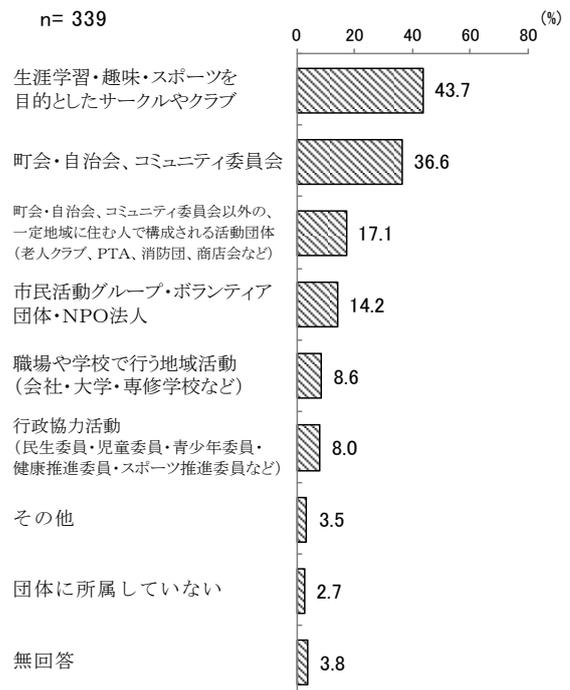
地域活動への参加状況

「現在、活動しておらず、今後活動するかわからない」が4割近く



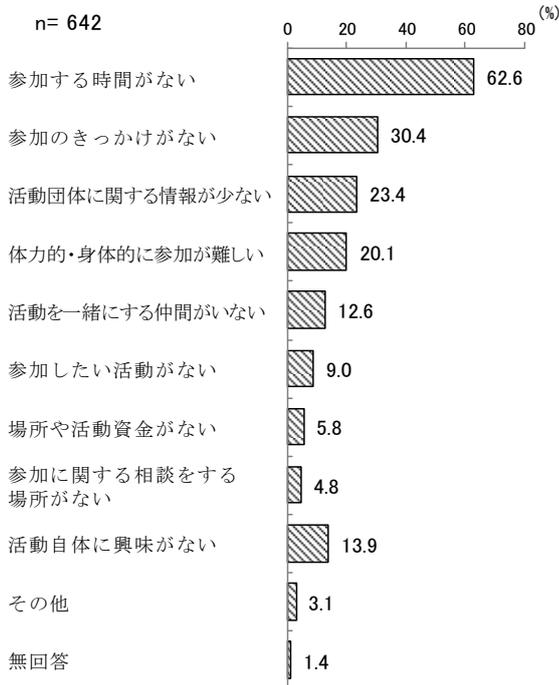
活動・参加している (参加したい) 地域活動の団体

「生涯学習・趣味・スポーツを目的としたサークルやクラブ」が4割を超える



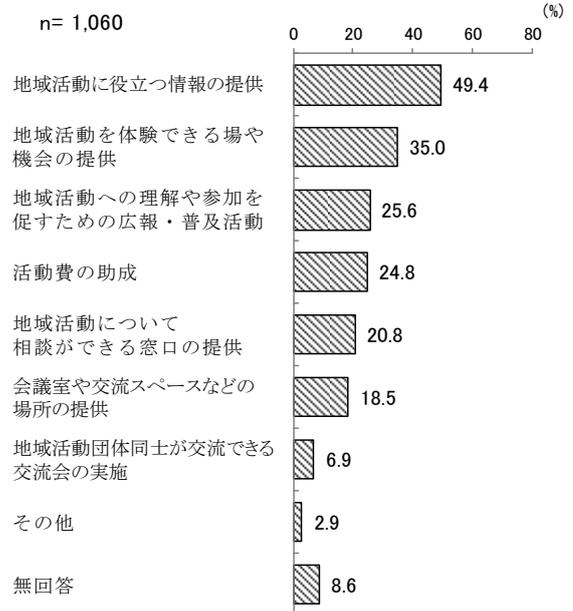
地域活動に参加していない理由

「参加する時間がない」が6割を超える



地域活動に対する区の支援

「地域活動に役立つ情報の提供」がほぼ5割

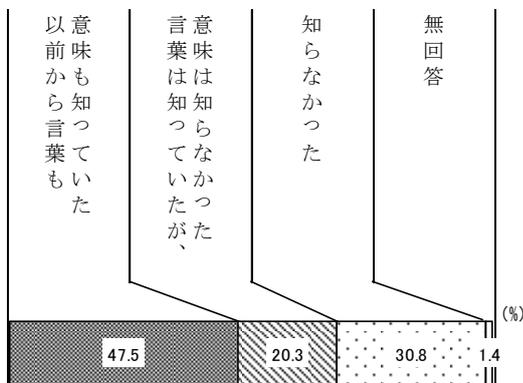


10. 福祉のまちづくり

心のバリアフリーという言葉の認知度

「以前から言葉も意味も知っていた」が5割近く

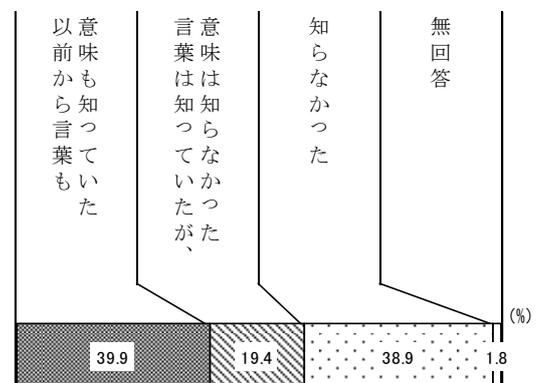
n=1,060



ユニバーサルデザインという言葉の認知度

「以前から言葉も意味も知っていた」が4割

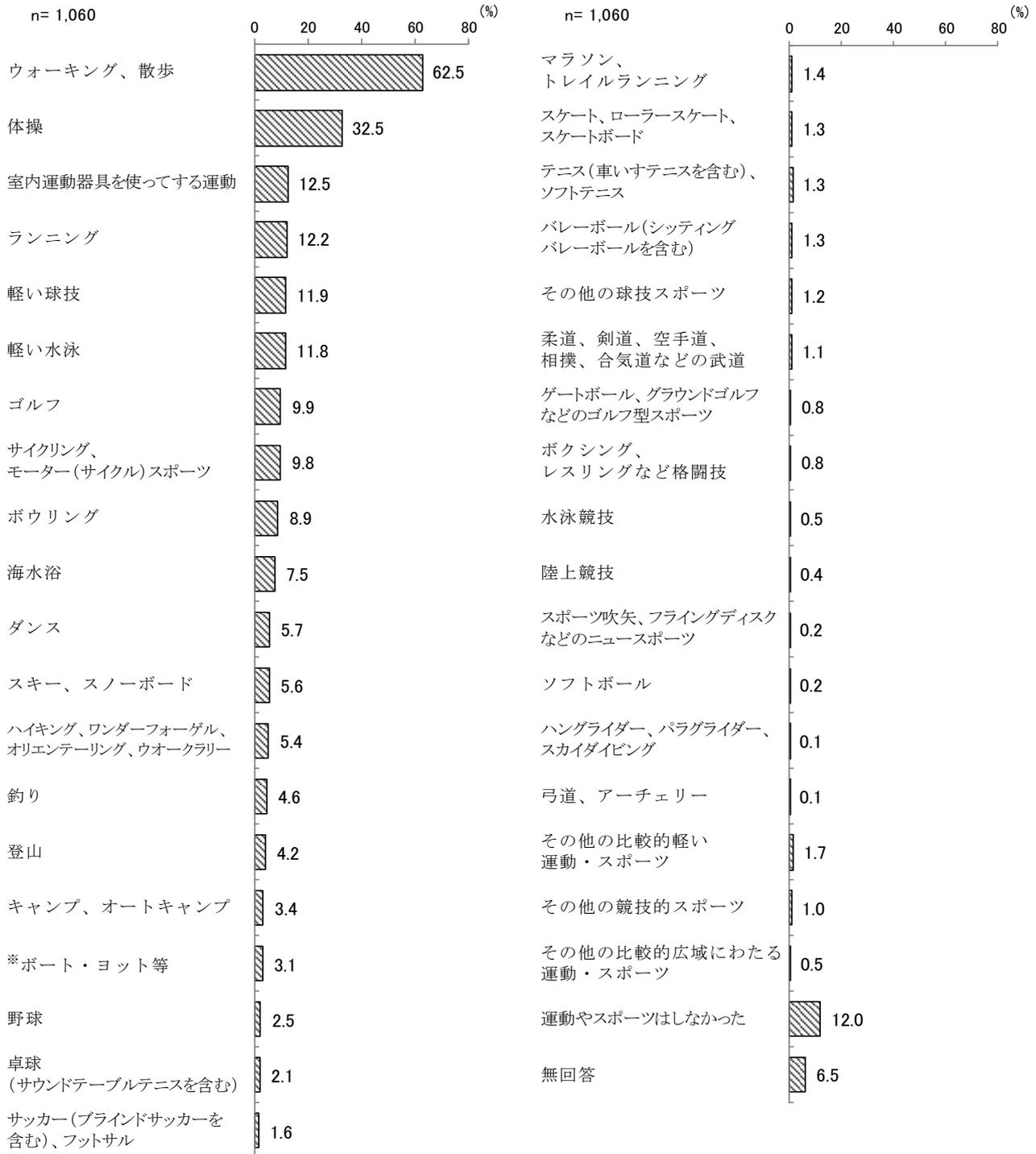
n=1,060



11. スポーツ活動

この1年間に行った運動やスポーツ

「ウォーキング、散歩」が6割を超える

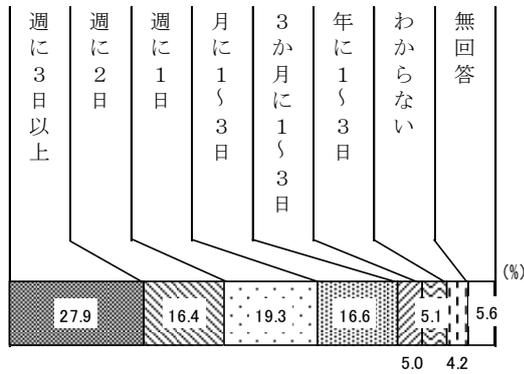


※「ボート、ヨット、スキндаイビング、スクーバダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、ウィンドサーフィン、ボディボード、ボードセーリング」を含む。

運動やスポーツを行った頻度

「週に3日以上」が3割近く

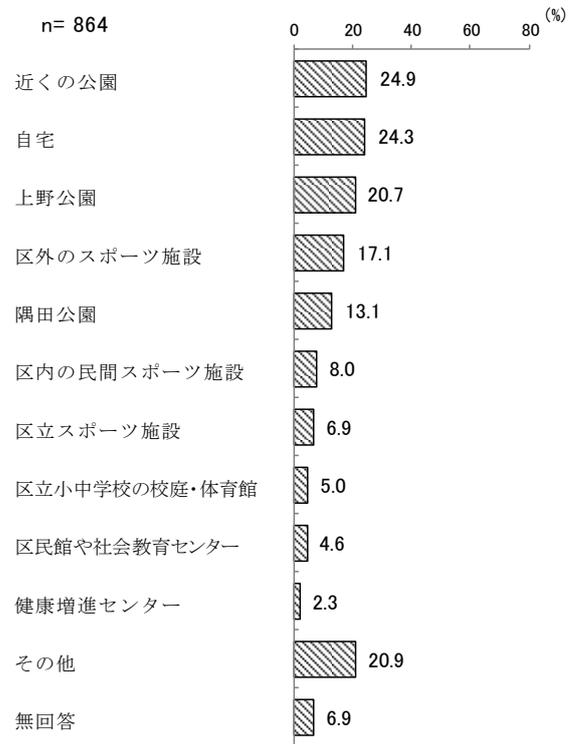
n=864



運動やスポーツをした場所

「近くの公園」が2割半ば

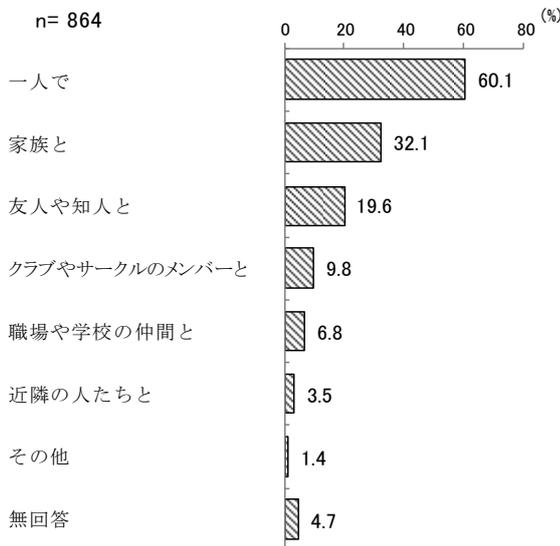
n= 864



だれと運動やスポーツをしたか

「一人で」が6割

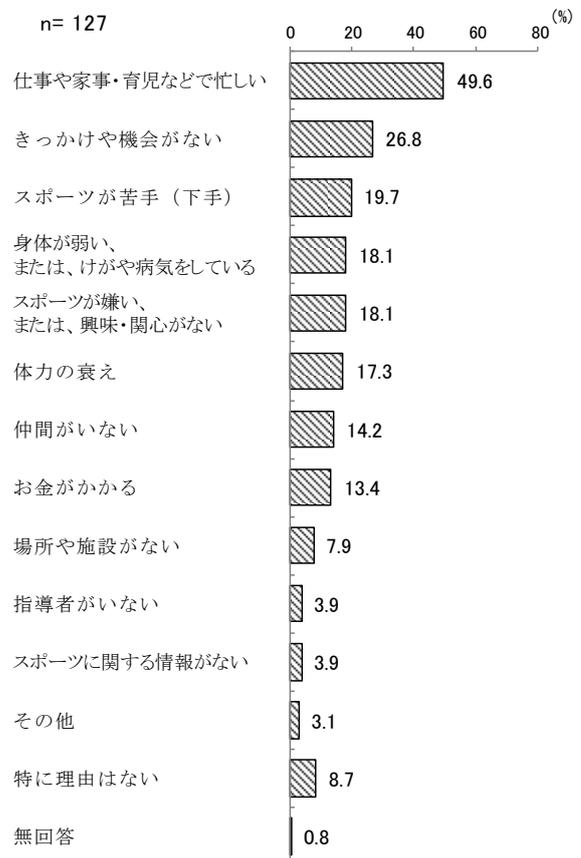
n= 864



運動やスポーツをしなかった理由

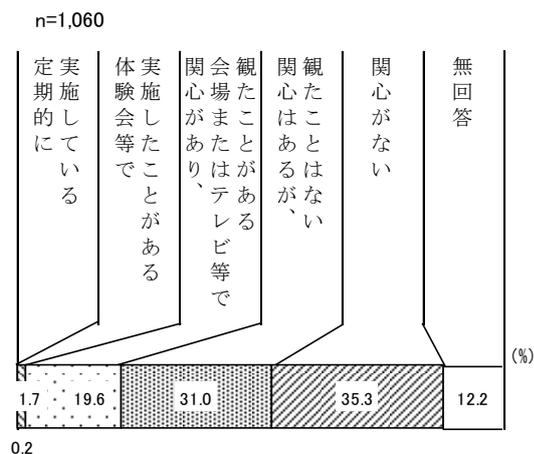
「仕事や家事・育児などで忙しい」が5割

n= 127



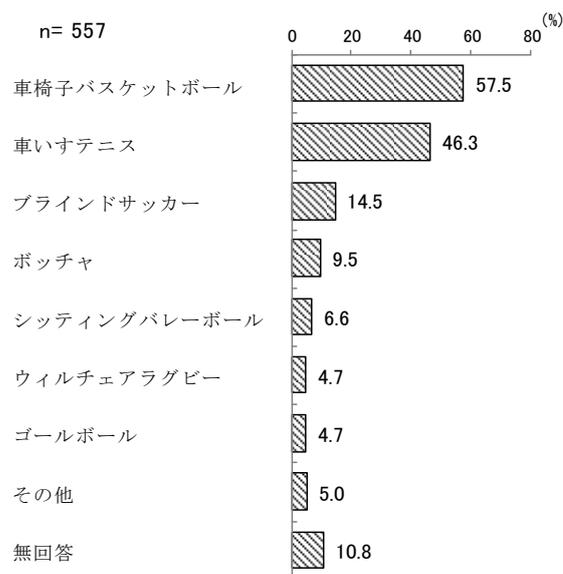
障害者スポーツの実施経験と関心度

「関心がない」が3割半ば



関心のある障害者スポーツ

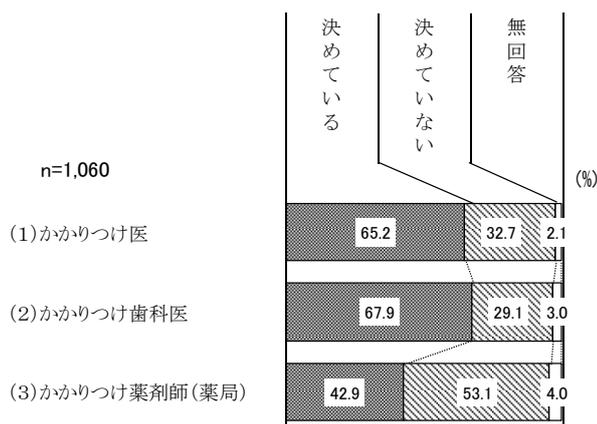
「車椅子バスケットボール」が6割近く



12. かかりつけ医・歯科医 ・薬剤師（薬局）

かかりつけ医・歯科医・薬剤師（薬局）
を決めているか

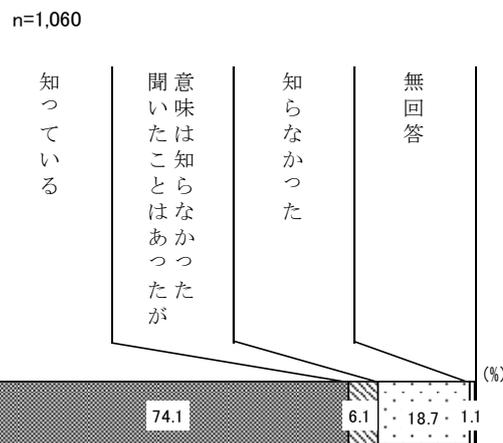
「かかりつけ医」が6割半ば、「かかりつけ歯
科医」が7割近い



13. 食品ロスの削減

食品ロスという言葉の認知度

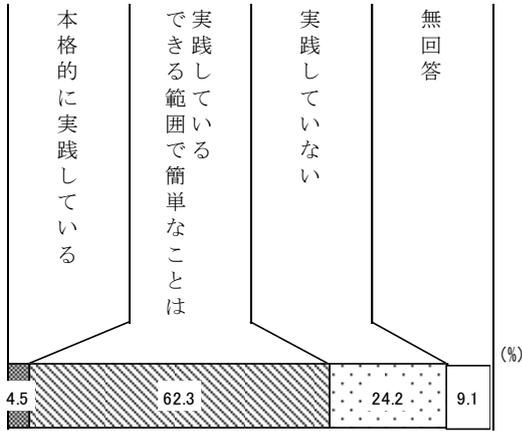
「知っている」が7割半ば



食品ロス削減のための取り組み

「できる範囲で簡単なことは実践している」
が6割を超える

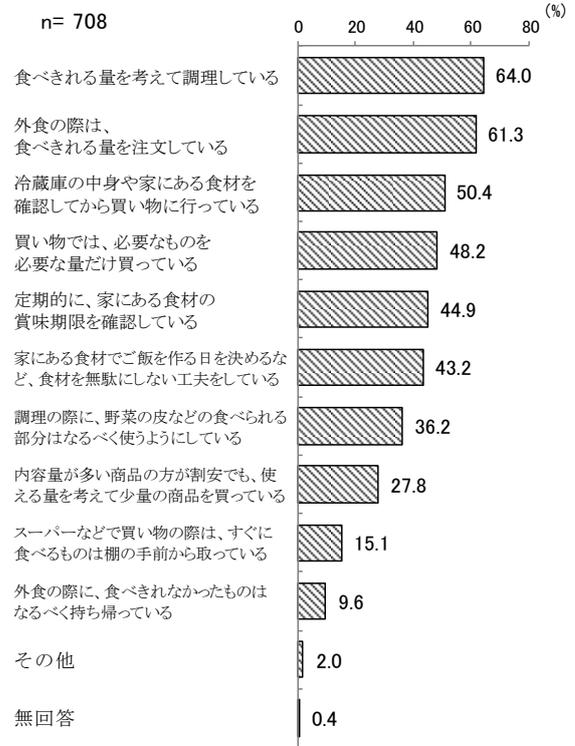
n=1,060



食品ロス削減のために 実践していること

「食べきれない量を考えて調理している」が
6割半ば

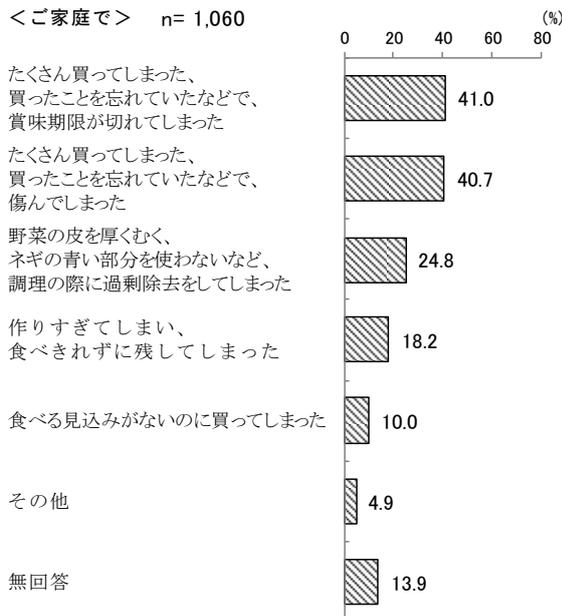
n= 708



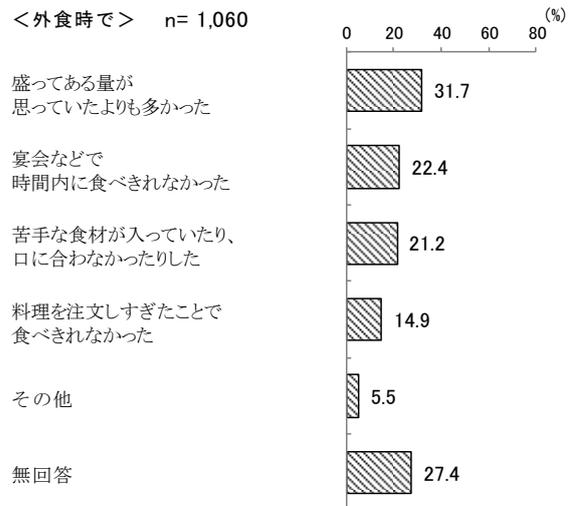
食品ロスの経験

<ご家庭で>は「たくさん買ってしまった、買ったことを忘れていたなどで、賞味期限が切れてしまった」が4割を超え、
<外食時で>は「盛ってある量が思っていたよりも多かった」が3割を超える

<ご家庭で> n= 1,060



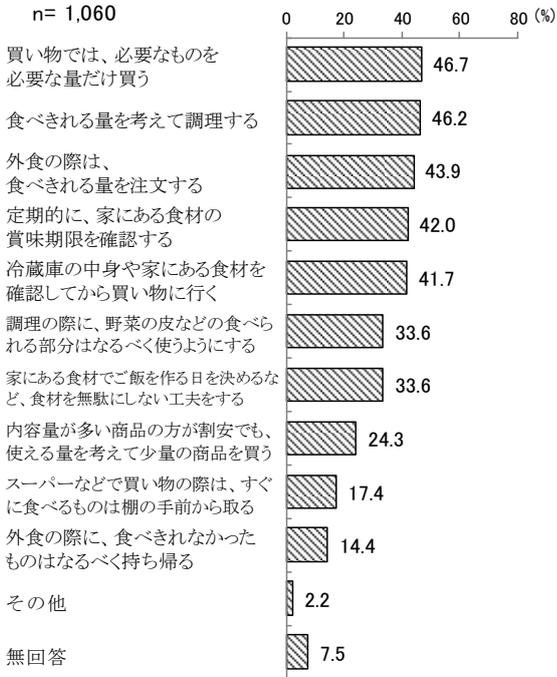
<外食時で> n= 1,060



14. 人権・男女共同参画社会

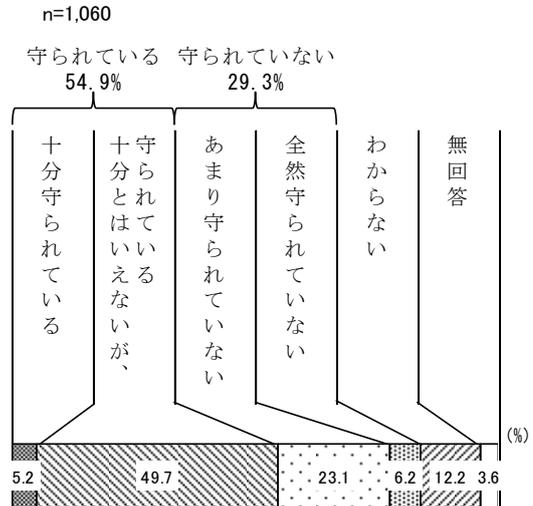
食品ロス削減のために実践できること

「買い物では、必要なものを必要な量だけ買う」が5割近く



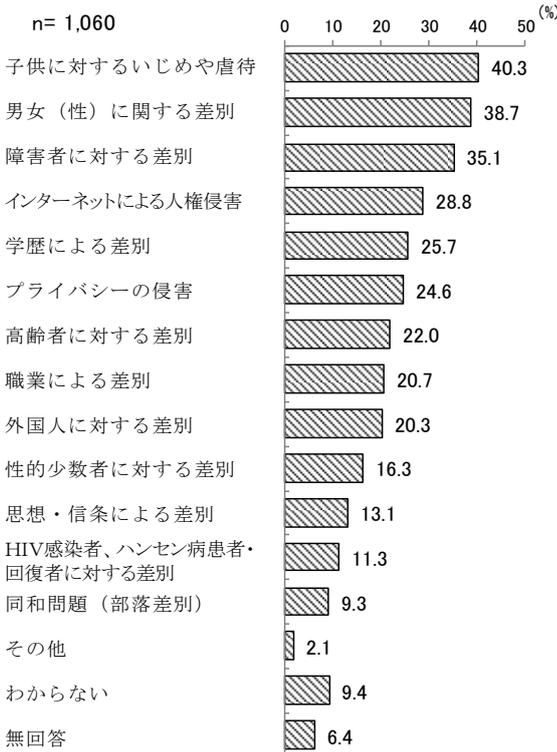
すべての人の「人権」が守られているか

『守られている』が5割半ば



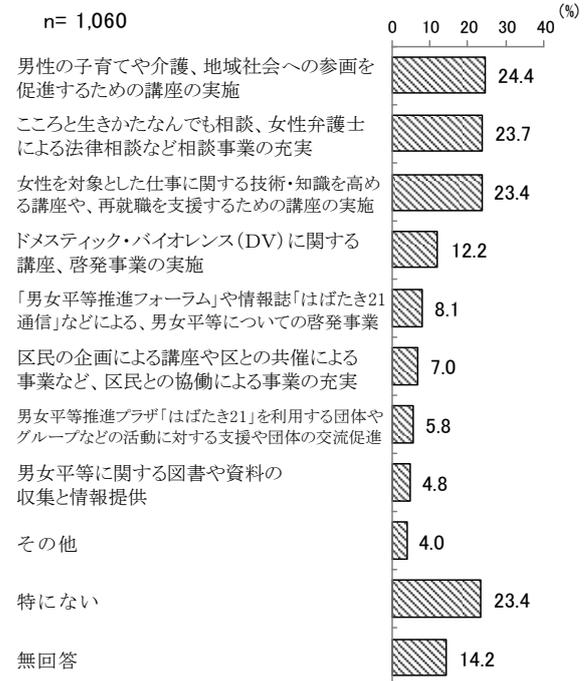
日常生活の中での人権侵害

「子供に対するいじめや虐待」が4割



「はばたき21」で 力を入れていくべき事業

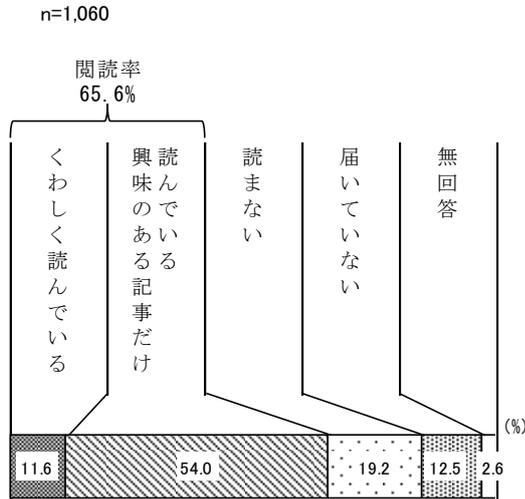
「男性の子育てや介護、地域社会への参画を促進するための講座の実施」が2割半ば



15. 広報

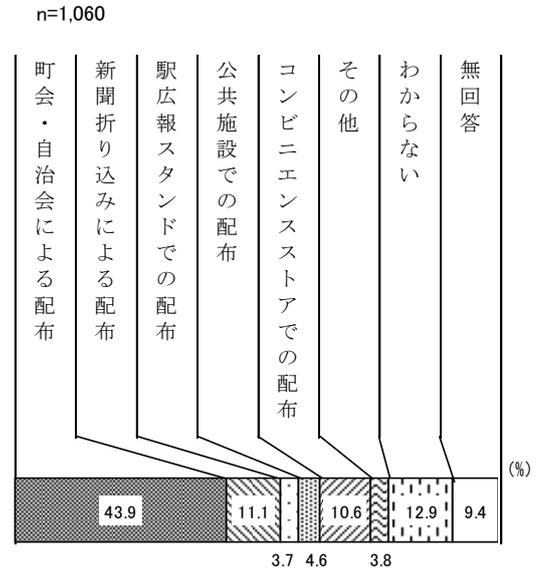
広報「たいとう」の閲読状況

広報「たいとう」の『閲読率』は6割半ば



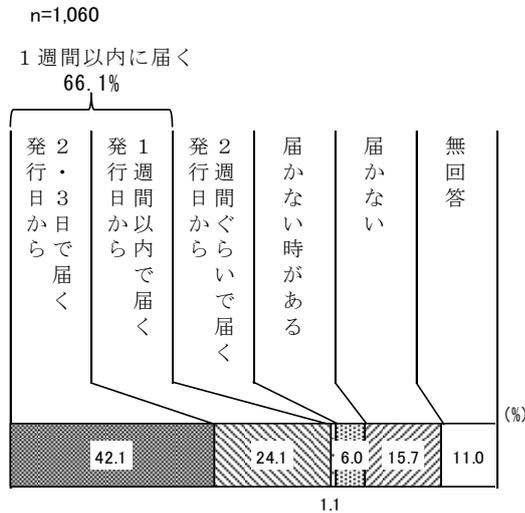
広報「たいとう」の希望する配布方法

「町会・自治会による配布」が4割を超える



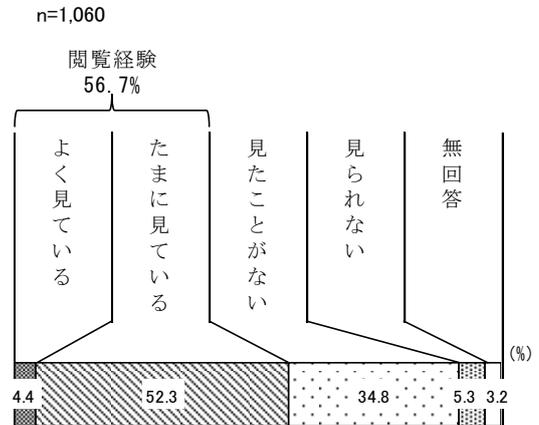
広報「たいとう」の配布状況

『一週間以内に届く』が6割半ば



区ホームページの閲覧状況

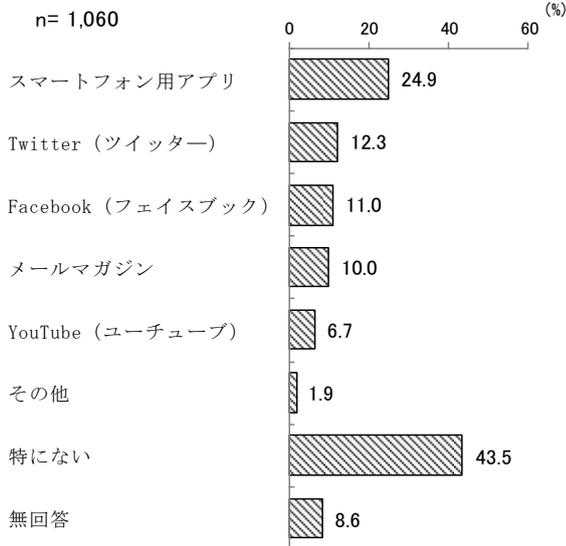
『閲覧経験』は6割近く



16. 区議会

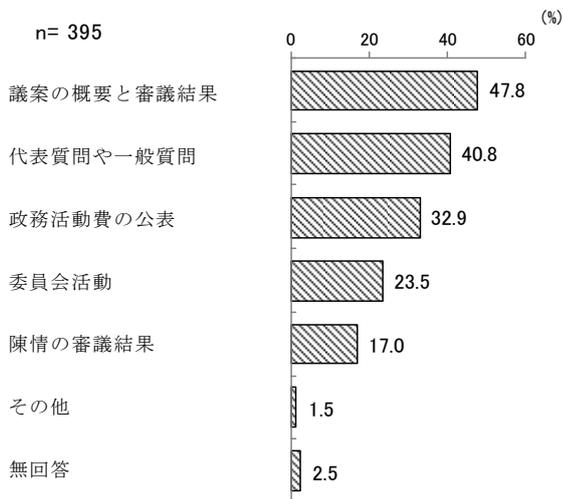
区の情報を得るために 利用してみたい方法

「スマートフォン用アプリ」が2割半ば



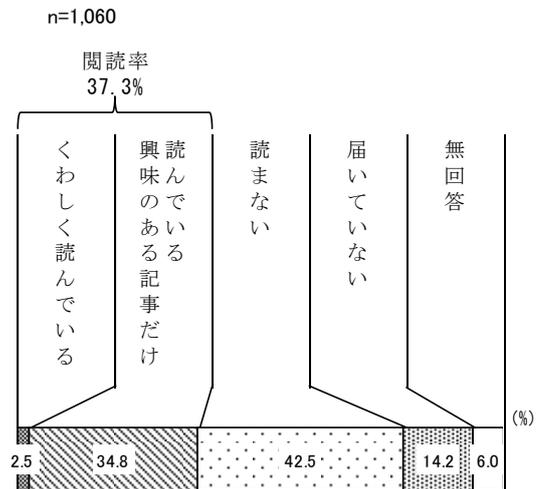
「たいとう区議会だより」で 興味のある記事

「議案の概要と審議結果」が5割近く



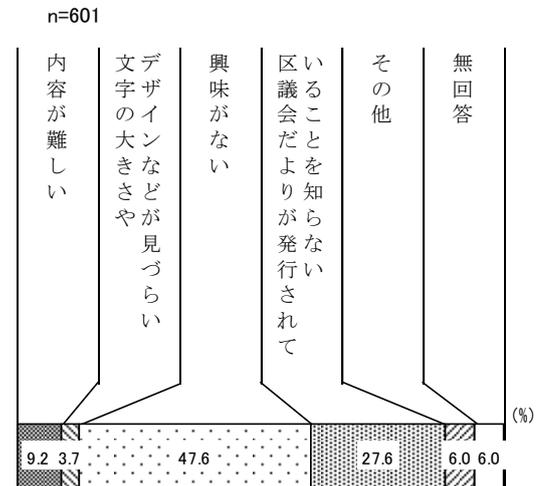
「たいとう区議会だより」の閲読状況

「たいとう区議会だより」の『閲読率』は
4割近く



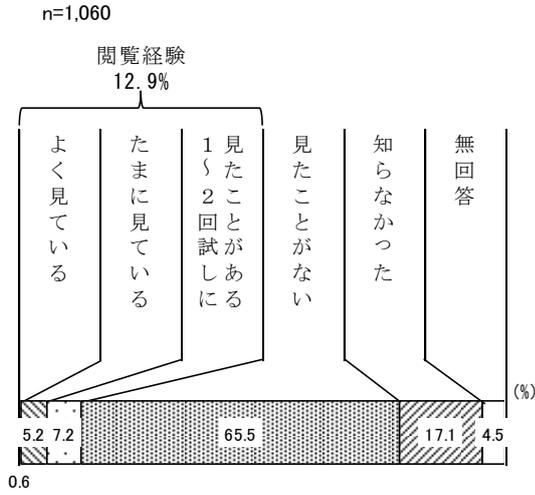
「たいとう区議会だより」を 読まない理由

「興味がない」が5割近く



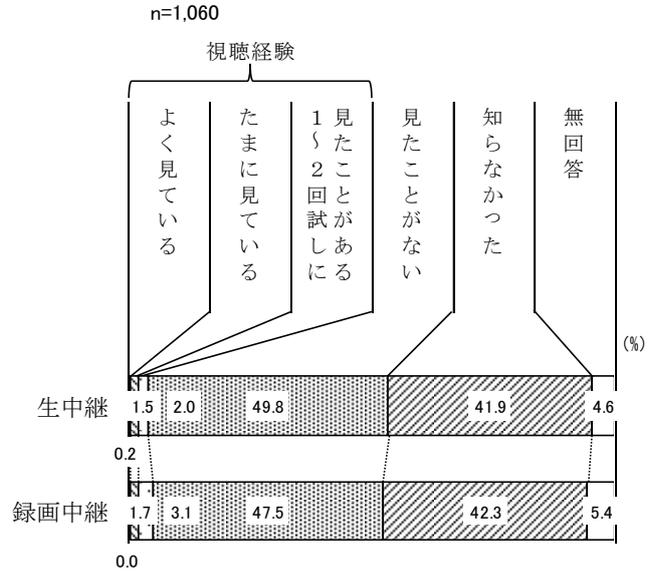
区議会ホームページの閲覧状況

『閲覧経験』は1割を超える



区議会インターネット配信サービスの視聴状況

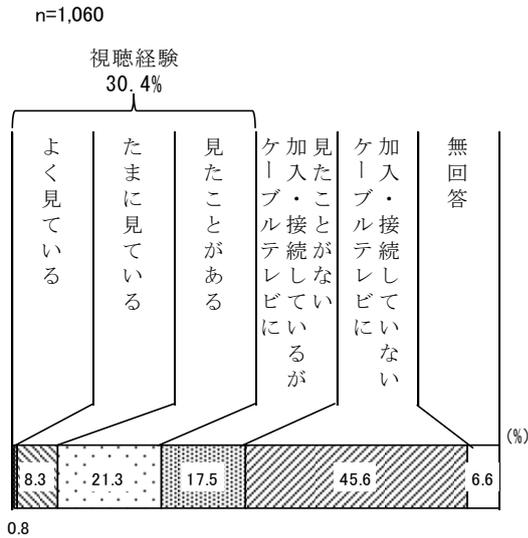
区議会インターネット配信サービスの『視聴経験』は1割以下



17. ケーブルテレビ

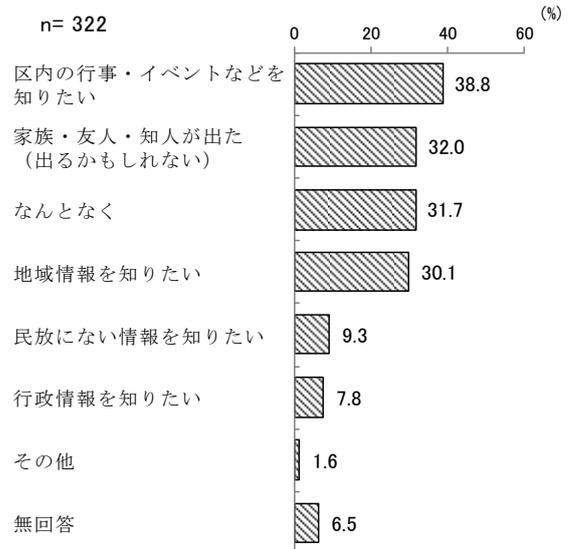
行政情報番組の視聴状況

『視聴経験』は3割



行政情報番組の視聴動機

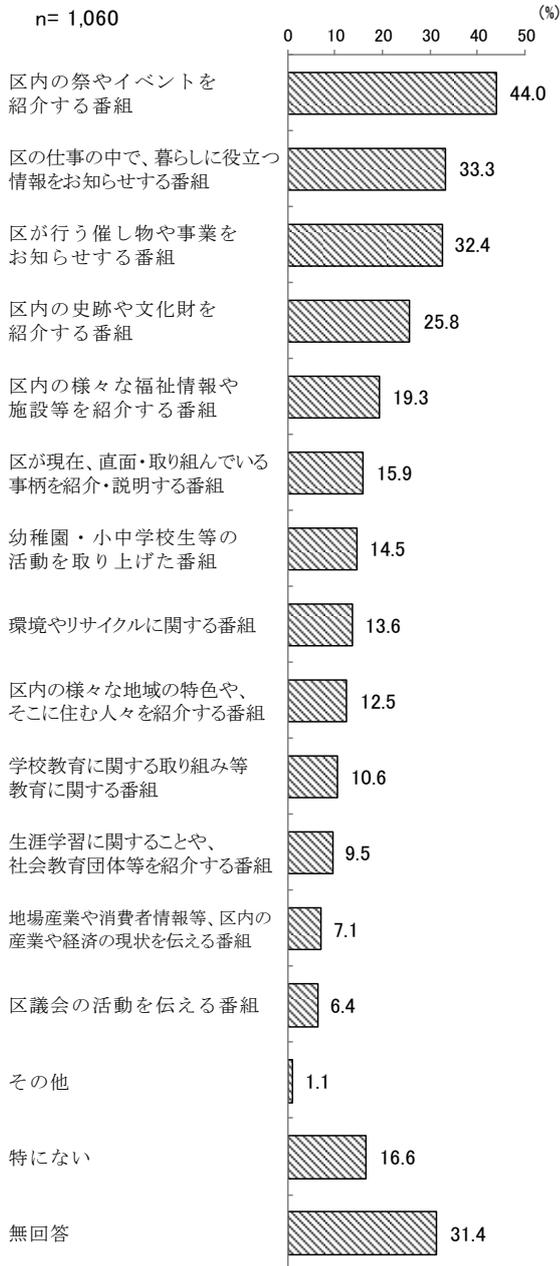
「区内の行事・イベントなどを知りたい」が4割近く



18. 区政への関心と要望

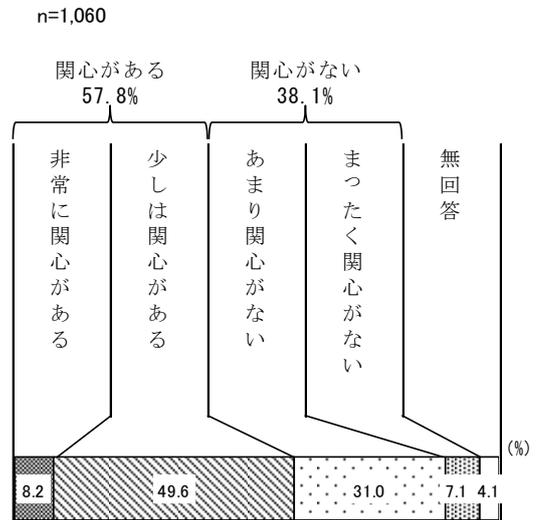
行政情報番組で見たいと思うもの

「区内の祭やイベントを紹介する番組」が
4割半ば



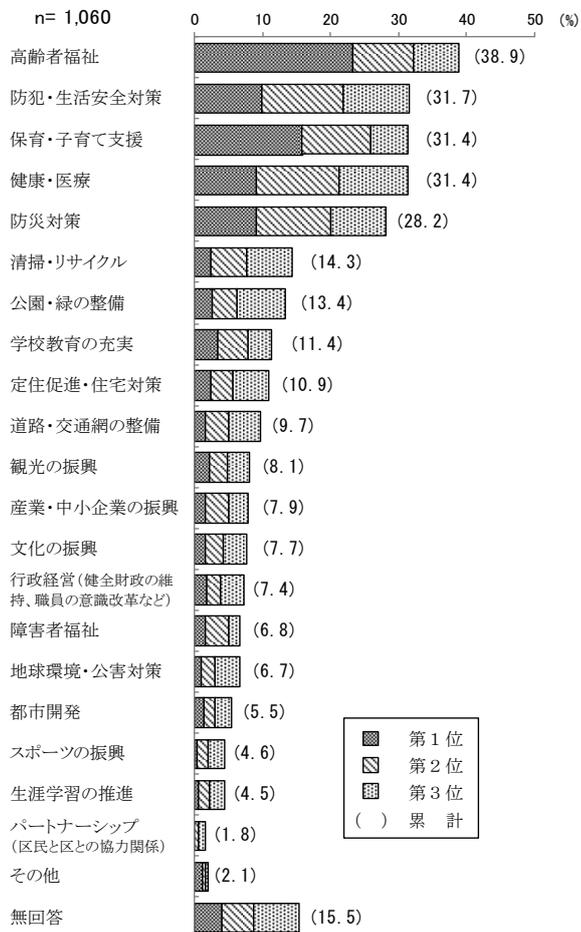
区政への関心度

『関心がある』が6割近く



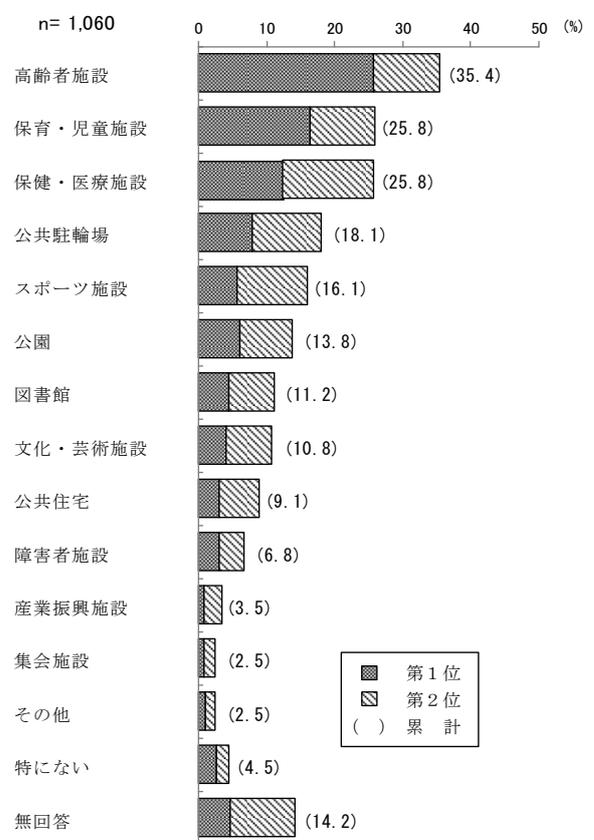
施策の要望

「高齢者福祉」、「防犯・生活安全対策」、「保育・子育て支援」が上位3項目



施設の要望

「高齢者施設」、「保育・児童施設」、「保健・医療施設」が上位3項目



参考：1. 回答の比率 (%) はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入した。

そのため、百分比の合計が、100%に満たない、または上回ることがある。

2. 基数となるべき実数は設問ごとの回答者数 (n) である。その際の比率はnを100としているので、複数回答の設問の場合100%を超えることがある。

3. 5ページの定住・転出意向における『定住意向』のように、「住み続けるつもり」と「できれば住み続けたい」等の2つ以上の選択肢を合わせた項目の比率を表記する場合、その比率は、それぞれの選択肢の実数値を合計して、比率を再計算したものを使用している。

編集・発行：台東区総務部 広報課 平成29年度登録第51号

東京都台東区東上野4-5-6

電話 03-5246-1023

台東区ホームページ <http://www.city.taito.lg.jp/>

調査報告書の著作権は区に帰属しますので、報告書の複製、貸与、その他著作権を侵害する行為は一切禁止いたします。